

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 企業物価指数(2008年4月)

発表日 2008年5月14日(水)

～ガソリンによる下押しがあるも、前年比+3.7%と高い伸びに～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 中本 泰輔

TEL : 03-5221-4549

(単位: %)

		国内企業物価		最終財		国内企業物価 (連鎖指数)		輸出物価		輸入物価	
		前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
06	5月	0.5	2.3	▲ 0.1	▲ 1.0	0.3	2.0	▲ 1.9	2.1	▲ 0.7	13.6
	6月	0.0	2.5	▲ 0.1	▲ 0.9	0.0	2.2	1.6	3.4	2.5	16.0
	7月	0.6	2.5	0.1	▲ 0.9	0.6	2.2	1.4	3.1	1.6	13.7
	8月	0.3	2.6	0.3	▲ 0.5	0.3	2.3	0.7	4.3	1.9	15.3
	9月	0.2	2.7	0.0	▲ 0.7	0.2	2.4	0.8	5.0	1.0	14.5
	10月	▲ 0.5	2.0	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 0.6	1.6	0.2	3.5	▲ 1.4	9.5
	11月	▲ 0.1	1.9	▲ 0.1	▲ 0.7	▲ 0.1	1.5	▲ 0.9	1.2	▲ 2.1	5.8
	12月	0.0	1.7	0.0	▲ 0.8	0.1	1.4	0.2	1.4	0.3	6.6
07	1月	▲ 0.1	1.5	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 0.1	1.2	1.3	4.9	2.9	10.6
	2月	0.0	1.2	▲ 0.1	▲ 1.2	▲ 0.1	0.9	▲ 0.1	3.3	▲ 2.0	4.3
	3月	0.2	1.4	0.0	▲ 1.1	0.1	1.0	▲ 1.3	2.5	▲ 0.3	4.4
	4月	0.8	1.9	0.1	▲ 0.7	0.7	1.4	1.4	3.4	3.3	7.0
	5月	0.3	1.7	0.1	▲ 0.5	0.2	1.3	1.4	6.9	3.5	11.5
	6月	0.1	1.8	▲ 0.1	▲ 0.5	0.0	1.3	1.2	6.5	1.6	10.6
	7月	0.7	1.9	0.2	▲ 0.4	0.6	1.3	▲ 0.3	4.7	▲ 0.2	8.6
	8月	0.0	1.6	0.0	▲ 0.7	0.1	1.1	▲ 3.1	0.8	▲ 2.2	4.2
	9月	▲ 0.1	1.3	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 0.1	0.8	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 1.0	2.2
	10月	0.3	2.0	0.2	▲ 0.3	0.2	1.6	0.6	▲ 0.6	3.3	7.1
	11月	0.2	2.3	0.2	0.0	0.3	2.0	▲ 2.6	▲ 2.3	▲ 0.6	8.7
	12月	0.4	2.7	0.4	0.4	0.3	2.2	0.5	▲ 2.0	4.1	12.8
08	1月	0.2	3.0	▲ 0.2	0.7	0.2	2.4	▲ 2.4	▲ 5.7	▲ 2.3	7.1
	2月	0.5	3.5	0.4	1.2	0.4	2.9	0.3	▲ 5.3	1.6	11.0
	3月	0.6	3.9	0.2	1.4	0.4	3.2	▲ 2.9	▲ 6.8	▲ 2.7	8.3
	4月	0.6	3.7	▲ 0.9	0.4	0.5	3.0	2.5	▲ 5.9	4.3	9.4

(出所) 日本銀行

○ 4月の国内企業物価は前年比+3.7%と高い伸び

4月の国内企業物価指数は前月比+0.6%、前年比+3.7%とほぼコンセンサス（同+3.6%、レンジ：+3.0%～+4.3%）通りとなった。4月は暫定税率の期限切れでガソリンの卸売価格が大幅に下落したにもかかわらず高い伸びとなっている。ガソリンの影響を除けば前月比+1.0%、前年比+4.1%であり、足元で国内企業物価の伸びが加速していることがわかる。前月比の内訳をみると、鉄鋼（前月比+7.6%、寄与度+0.44%ポイント）、スクラップ類（前月比+10.6%、寄与度+0.11%ポイント）、電気・都市ガス・水道（前月比+2.3%、寄与度+0.11%ポイント）、金属製品（前月比+1.9%、寄与度+0.07%ポイント）、加工食品（前月比+0.5%、寄与度+0.05%ポイント）などがプラスに寄与し、石油・石炭製品（前月比▲3.2%、寄与度▲0.23%ポイント）、化学製品（前月比▲0.7%、寄与度▲0.06%ポイント）などがマイナスに寄与した。

鉄鋼はこのところ上昇ペースが加速している。原料となるスクラップや鉄鉱石、原料炭などの価格が上昇していることが背景にある。当面強含みでの推移が見込まれよう。石油・石炭製品については、石炭製品が大幅に上昇（前月比+64.6%、寄与度+0.07%ポイント）したものの、ガソリンが大幅に下落している。ガソリン価格は暫定税率が復活したことから5月に入って上昇しており、5月の国内企業物価は伸びを高める可能性が高いだろう。

○ 国内品の消費財はガソリンによる押し下げがあり前年比+0.7%

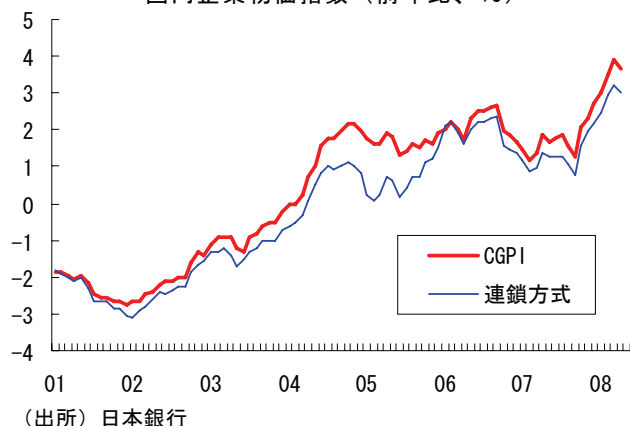
国内品を需要段階別にみると、素原材料は前年比+13.4%（3月：同+10.9%）、中間財は同+5.5%

（3月：同+5.2%）最終財は同+0.4%（3月：同+1.4%）となった。消費者物価の財価格と関連が深い消費財も、国内品で同+0.7%（3月：同+2.3%）と伸びが鈍化した。消費財はガソリンの要因を除けば引き続き高い伸びを続けている。消費者物価指数も当面高い伸びが続くと見込まれる。

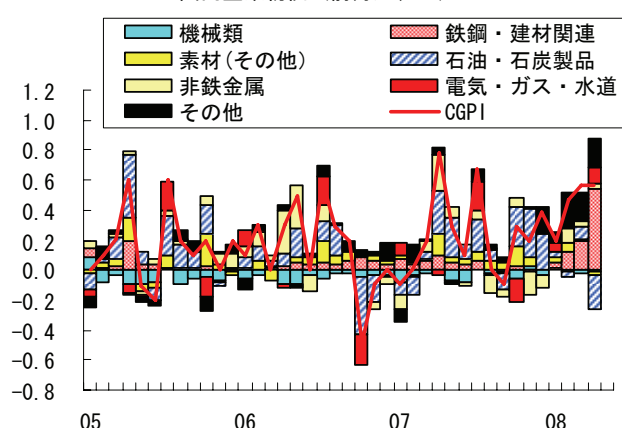
○ 国内企業物価は強含みでの推移が続く見込み

先行き、国内企業物価は強含みでの推移を続ける公算が大きい。原油価格が高止まりしていること、鉄鋼をはじめとする素材価格が強含みで推移を続けるとみられること等がその理由である。雇用・所得環境の改善が緩やかなものにとどまると見込まれる中で、今後も原材料価格の高騰が続く場合、企業収益の悪化や、値上げによる消費マインドの悪化から個人消費の下振れなどのリスクがあることには注意が必要だ。

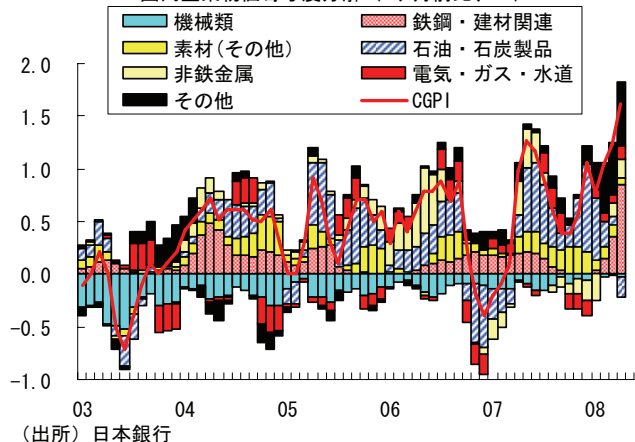
国内企業物価指数（前年比、%）



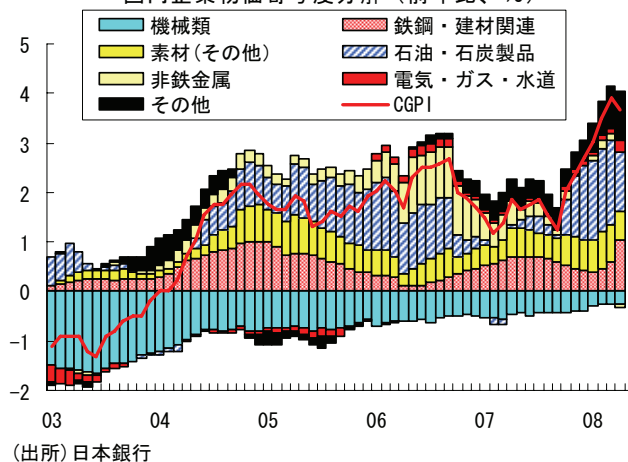
国内企業物価（前月比、%）



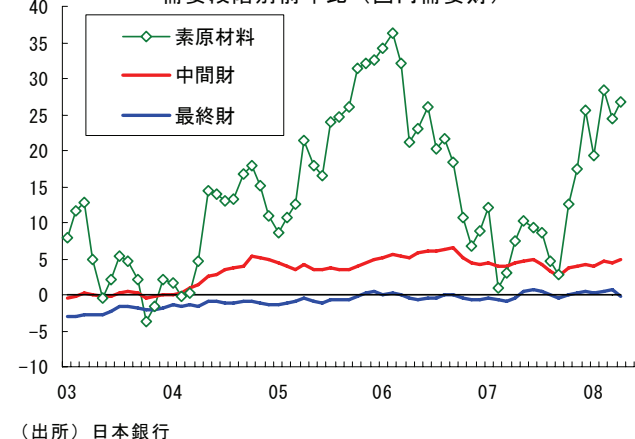
国内企業物価寄与度分解（3ヶ月前比、%）



国内企業物価寄与度分解（前年比、%）



需要段階別前年比（国内需要財）



需要段階別前年比（最終財）

